

< 第 9 期 >

中間報告書

2015年4月1日～2015年9月30日



当社社有林：赤石岳から見た荒川三山（南アルプス）

特種東海製紙株式会社

TOKUSHU TOKAI PAPER CO., LTD.

証券コード 3708





代表取締役社長 三澤 清利

第三次中期経営計画の中間年度、 確実な投資回収とさらなる飛躍のための 新たな提携の模索を行いました。

株主の皆様におかれましては、平素より当社グループに對しまして格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社第9期中間（2015年4月1日から2015年9月30日まで）の報告書をお届け申し上げます。

当事業年度（2016年3月期）は、「変革への挑戦、そして未来へ」をテーマとした第三次中期経営計画の中間年度として計画達成へ向けた諸施策の実行を進める中、2014年12月31日に発生いたしました当社島田工場におけるチップサイロ火災からの完全復興に向けた取り組みを、全社一丸となり行っております。

さらに、当社で扱う段ボール原紙やクラフト紙など産業用紙分野の事業においてさらなる競争力強化を図ることを目的として、日本製紙株式会社との事業提携へ向けた基本合意書を締結いたしました。2016年10月を目途に本事業提携の実現に向けた検討を進めてまいります。

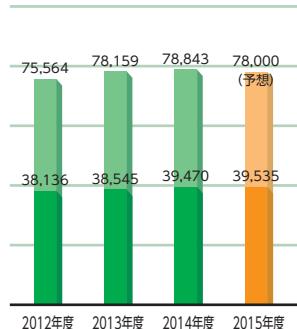
当第2四半期の業績は、古紙、チップ、パルプ等の原材料価格の高騰によるマイナス要因があったものの、赤松水力発電所の売電開始、新製品である高級印刷用紙「エアラス」やプレミアム付き商品券需要、その他製品の売上が好調であったことなど第三次中期経営計画の成長戦略が早くも大きく貢献し、売上高39,535百万円、経常利益2,137百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1,306百万円を計上いたしました。

なお、通期業績の見通しといたしましては、さらなる第三次中期経営計画の効果は発現するものの原材料価格の高止まりを勘案し、売上高78,000百万円、営業利益3,100百万円、経常利益3,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,400百万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、引き続き、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

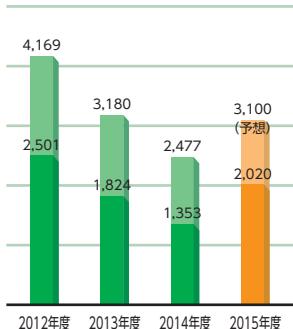
売上高

(単位：百万円)



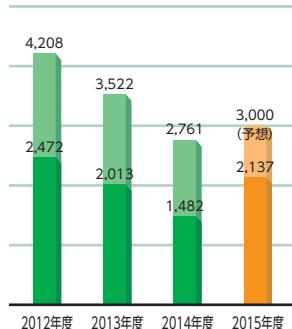
営業利益

(単位：百万円)



経常利益

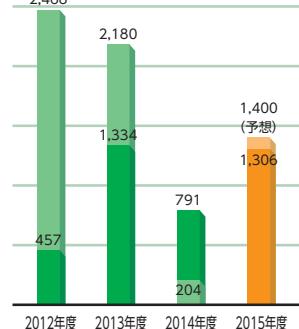
(単位：百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

■ 第2四半期 ■ 通期

(単位：百万円)



中期経営計画

新商品の開発

製品開発テーマ『NaSFA』の進捗といたしましては、高級印刷用紙「エアラス」が、2015年2月の発売以降、嵩高でありながら、緻密で美しい印刷ができる紙として市場より高い評価をいただいております。さらに新規格（四六判丁目）を2015年10月に発売しました。

また、当中間期においては、当社既存の高い偽造防止技術を用いたプレミアム付き商品券用紙の引き合いもありましたが、今後も2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会や海外パスポート等の新規需要獲得をはじめ、さらなる偽造防止用紙の拡販を目指しております。

その他の案件としましては、2016年に生産開始予定の情報用紙や、今までにない当社製品の将来の柱となる可能性をもつ大型案件の検討を進めております。

新規分野への進出

当社グループの株式会社トライフにおいては、2015年1月に単品種を多量に生産する新タオル抄紙機1号機が完成しました。これに続き現在2016年4月の完成を目指し、多品種の製品を生産可能とする新タオル抄紙機2号機の建設を進めております。

当該抄紙機の完成により紙の強さを自在に変化でき、

強度バランスの良い製品が供給可能となり、お客様のご要望に広く対応できることとなります。

基盤事業の構造改革

当社島田工場では、購入電力量や化石燃料の削減によるエネルギー費用の抑制とCO₂排出量の削減を目的とした新バイオマスボイラーの建設を進めており、2017年1月の運転開始スケジュールに沿って順調に進行しております。

また、当社三島工場では、既存ボイラーの改造工事を2016年4月に行い、蒸気発生量を増加させることにより、大幅なエネルギーコストの削減を見込んでおります。

さらに、当社グループの静岡ロジスティクス株式会社において、外部保管倉庫の集約による賃料の削減と物流の効率化や倉庫業の外販収益の拡大を目指した新倉庫建設の検討を行っております。当社グループの株式会社TOSOロジスティクスとの連携も強化し、物流改革を行ってまいります。



島田工場新ボイラー完成予想図

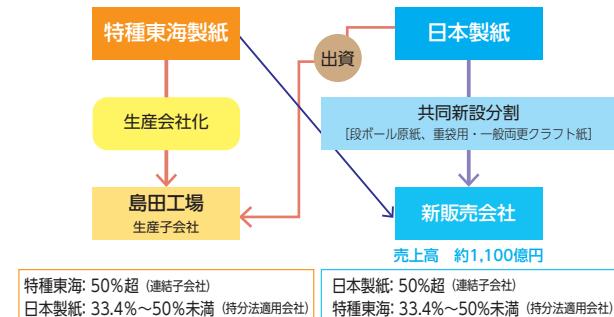
他社・他産業との部分提携

2015年10月7日に日本製紙株式会社と、段ボール原紙および重袋用・一般両更クラフト紙事業のさらなる強化を実現すべく、2016年10月の事業提携を目指した基本合意書を締結いたしました。

基本合意書の要旨

- ①当社島田工場を分社化し、日本製紙が一部出資
- ②段ボール原紙および重袋用・一般両更クラフト紙に関する両社の販売部門を共同新設分割により統合し、新販売会社を設立

事業提携の概要



本事業提携の想定シナジー

- 両社の生産ノウハウを集結し、品質・コスト競争力を強化
- 原材料等の共同調達による各工場のコストダウン効果の期待
- 段ボール原紙販売の安定供給による、効率的な販売体制の確立

今後の予定

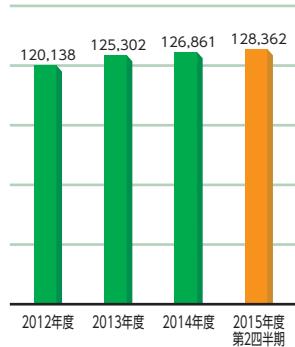
- | | |
|----------|----------------------------|
| 2016年 4月 | 最終合意書締結 |
| 6月 | 当社島田工場分社化の定時株主総会決議 |
| 10月 | 事業提携の完了
新製造会社および新販売会社設立 |



▶▶▶ 連結財務ハイライト ◀◀◀

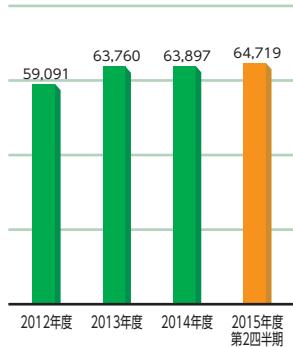
総資産

(単位：百万円)



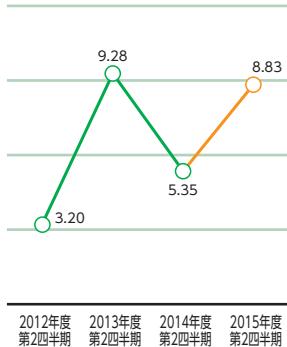
純資産

(単位：百万円)



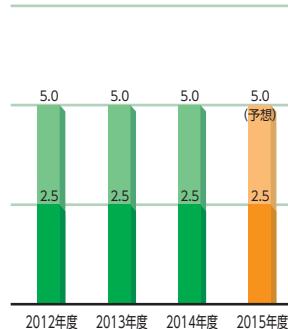
1株当たり四半期純利益

(単位：円)

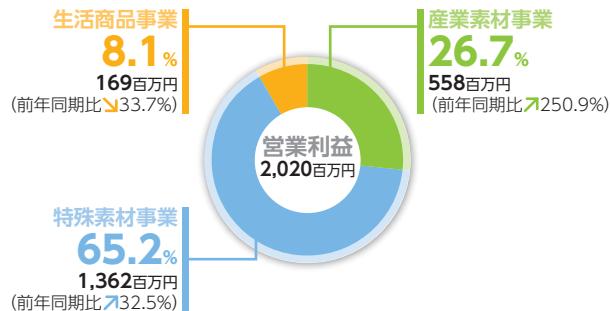
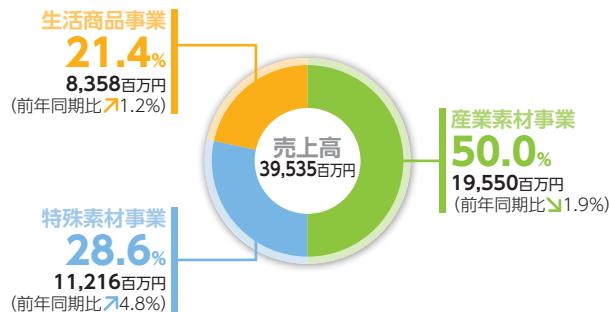


配当金の推移

(単位：円)



セグメント別構成比率



セグメントの概要

産業素材事業

- 段ボール原紙は、夏場の天候不順により加工食品向けが低調に推移し、販売数量が前年同期を下回る。
- クラフト紙は、季節需要商品等の販売数量が前年同期を下回る一方で、成長戦略として2月に更新工事が完了した赤松水力発電所が利益に寄与。



特殊素材事業

- プレミアム付き商品券の需要を取り込み、販売数量が前年同期を上回る。
- 特殊印刷用紙は、2月に発売した高級印刷用紙「エアラス」の展示会を開催等、拡販に努め販売は順調に伸びるも、出版向けの需要減少等によりファンシーペーパーの販売が減少、販売数量が前年同期を下回る。



生活商品事業

- ペーパータオルは、販売先ごとのきめ細かな営業活動等により、販売数量は前年同期を上回り、販売価格はほぼ横ばいで推移。
- トイレットペーパーについては、販売数量は前年同期並みも、価格の維持に努めた結果堅調に推移。

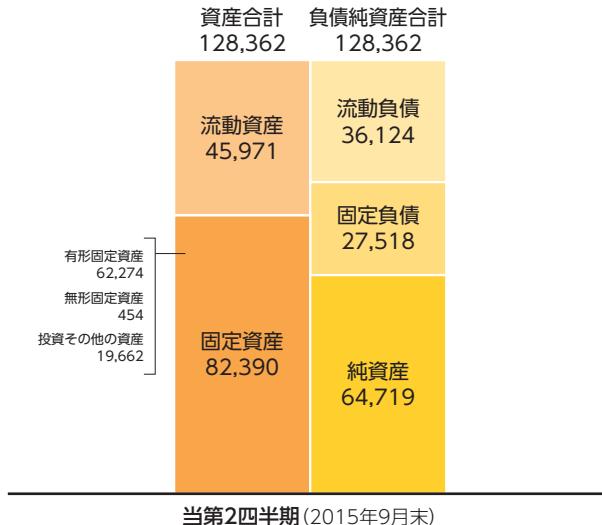
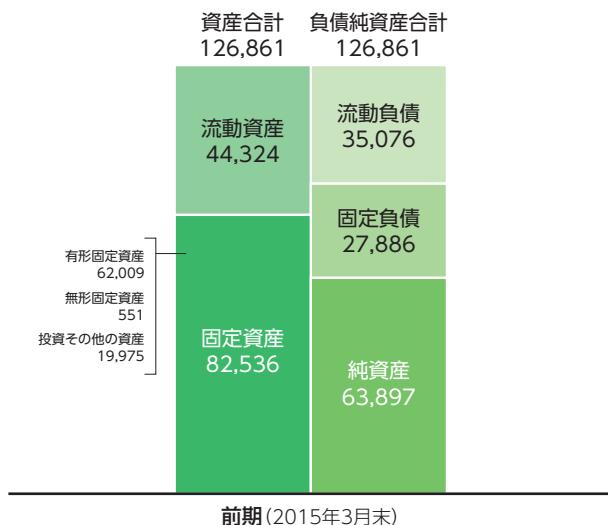


連結財務諸表

連結貸借対照表の概要

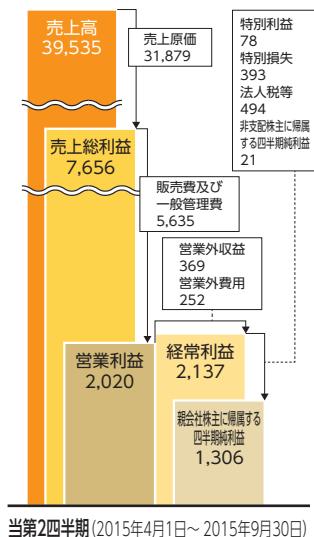
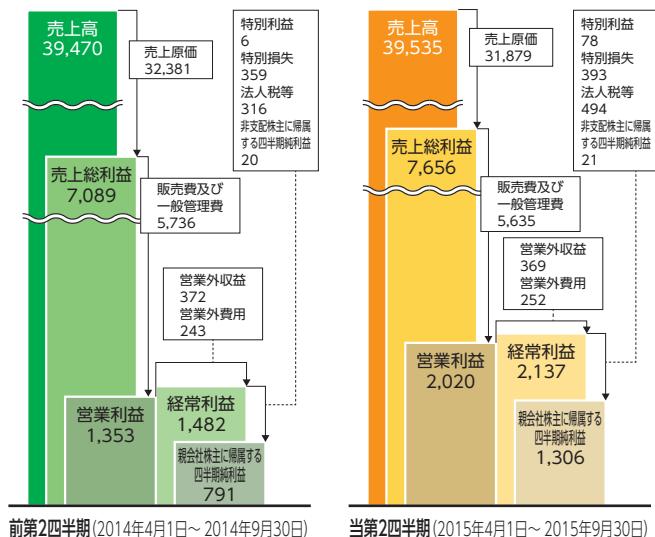
(単位：百万円)

(単位：百万円)



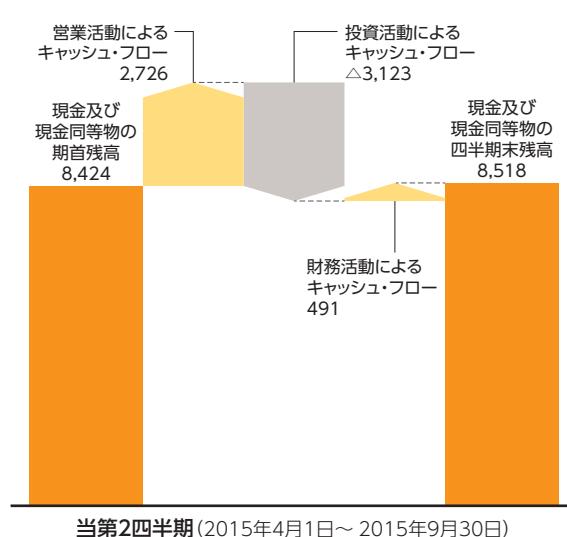
連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



●チップサイロ火災からの復興状況について

当社島田工場において2014年12月31日に発生した火災事故におきましては、近隣住民の皆様をはじめ様々な関係者の方々にご迷惑、ご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

さて、当社におきましては事故発生直後より再発防止委員会を発足させ、事故の発生原因を徹底検証し、管理・運用・設備面の抜本的な対策を実施いたしました。

また、火災鎮火後のチップサイロの復興状況としましては、2015年6月より既にチップの受入払出しを部分的に実施しておりますが、2016年1月には再建工事が完了して正常稼働を開始いたします。

さらに、火災リスクの低減策として、火災報知器の設置や散水設備の能力アップ、監視カメラの増台などサイロ内外の設備を増強し、徹底した再発防止対策を行いました。

1. 事故の背景にある潜在的な課題の対策

- ・当事者意識の改革
- ・子会社の施工管理部門を島田工場配下へと組織変更し指示命令系統の一本化

2. 発生源対策

- ・火気禁止・制限区域での火気使用工事方法の見直し
- ・所管部署による防火管理の徹底
- ・断水時の火気使用工事の許可条件見直し
- ・施工管理会社による工事業者の管理・監督の方法

3. 監視対策

- ・火気使用工事後の事後点検の徹底・強化
- ・特設消防団、警備会社による巡視強化
- ・当直要員配置による点検強化

4. リスク低減策

- ・難燃材料の採用や設備分離機構の追加等の設備対応
- ・各種火災報知器と連動した消火設備の設置
- ・教育訓練の徹底

5. 当社広報活動

- ・当社ホームページにおける非常事態時の体制構築
- ・緊急時に社外との情報共有ができる専門部隊の設置



新チップサイロ全景

●第25回紙わざ大賞

2015年10月22日～25日の4日間、銀座十字屋ホールにおいて第25回紙わざ大賞入賞作品展が開催されました。

大賞作品「OKOSAMA MADE」、準大賞「Human connection」をはじめとした73点の作品が展示され、4日間で2,273名のお客様にご来場いただきました。

また、紙わざ大賞のホームページでは、来場者アンケートの集計結果「あなたが選ぶ“紙わざ大賞”」を掲載しております。なお、当社Pam（静岡県駿東郡長泉町本宿437）で開催中の「第25回紙わざ大賞入賞作品展 in Pam」において、2016年1月29日まで作品をご覧いただけます。詳しくは紙わざ大賞ホームページをご覧ください。

<http://www.tt-paper.co.jp/kamiwaza/>



大賞作品「OKOSAMA MADE」



入賞作品展の様子

●新商品紹介

トイレットペーパー

当社グループの特種東海エコロジー株式会社より「エコロジー1.5倍巻き12ロール」が新発売となりました。

シングル90m（従来品60m）、ダブル45m（従来品30m）と1ロール当たりの巻きメーターを従来品の1.5倍とすることで交換回数が減り、また従来品と同サイズとすることで、保管スペースやトイレトーパーホルダーも従来どおりにご利用いただけます。



ニュータウパー

当社グループの株式会社トライフにおいては、新タオル抄紙機1号機の本格稼働により業務用の再生ペーパータオルは紙上最大の革新を図りました。より一層白く、紙質は柔らかな肌触りで、使用後は小さく変身し環境にやさしいニュータウパーとして生まれ変わりました。

タウパー スキップ、ピアンカ、プリエ、ルコットの4種類が新発売となり、引き続きご愛用いただければと存じます。



▶▶▶ 第9期中間配当金について ◀◀◀

当社は、2015年11月13日開催の取締役会において、第9期中間配当金として1株当たり2円50銭をお支払いすることを決議し、2015年12月7日より配当金のお支払いを開始させていただきます。

なお、当社ホームページでは過去の配当に関するご説明とFAQを掲載しておりますので、ご案内申し上げます。

ホームページアドレス <http://www.tt-paper.co.jp/>

決議	2015年11月13日
株式の種類	普通株式
配当金の総額	371,425,512円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	2円50銭
基準日	2015年9月30日
効力発生日	2015年12月7日

▶▶▶ 役員 (2015年9月30日現在) ◀◀◀

代表取締役社長	社長執行役員	三澤	清利
代表取締役	副社長執行役員	三宅	博
取締役	専務執行役員	大島	一宏
取締役	常務執行役員	関根	常夫
取締役	常務執行役員	落合	一彦
取締役	常務執行役員	松田	裕司
取締役	執行役員	紅林	昌巳
取締役	執行役員	渡邊	克宏
取締役	執行役員	毛利	豊寿
取締役	(社外)	石川	達紘
取締役	(社外)	志賀	こず江
常任監査役 (常勤)		三谷	充弘
監査役	(社外)	大倉	喜彦
監査役	(社外)	上田	廣美

▶▶▶ 会社概要 (2015年9月30日現在) ◀◀◀

商号	特種東海製紙株式会社
英文名	Tokushu Tokai Paper Co., Ltd.
事業内容	紙パルプの製造・加工・販売および子会社の経営管理等
資本金	11,485,200,000円
事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (コード: 3708)
設立年月日	平成19年4月2日
本店	静岡県島田市向島町4379番地
本社	東京都中央区八重洲2丁目4番地1号
事業所	島田工場、三島工場、横井工場、岐阜工場、 静岡オフィス、大阪営業所、中部営業所、 静岡営業所

▶▶▶ グループ企業 (2015年9月30日現在) ◀◀◀

会社名	主な事業
特種東海マテリアルズ株式会社	製紙原料の仕入・販売、製材品の仕入・販売
株式会社特種東海フォレスト	土木、造園緑化、山林事業、観光事業、保険代理業
株式会社レックス	一般廃棄物・産業廃棄物の収集、運搬、加工処理および売買
株式会社テクノサポート	構内作業業務、設備保全業務、重油・産廃運搬業務
静岡ロジスティクス株式会社	運送業、倉庫業、リース業、酒類販売
株式会社TTトレーディング	特殊機能紙・保護紙・画材用紙・エレクトロニクス関連用紙・加工品等の販売
特種メーテル株式会社	特殊紙製造、医療用機能性シート、緩衝・保護包装紙の製造・販売
株式会社トライフ	ペーパータオルなど各種業務用品の製造・販売、各種産業用資材の加工、販売
特種東海エコロジー株式会社	家庭紙(トイレットペーパー)の製造・販売
株式会社TOSロジスティクス	運送業

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711
(通話料無料、平日9:00~17:00)
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

上記は、特別口座に記録された株式に関する各種手続き先ならびに郵送物等の発送と返戻、支払期間経過後の配当金および株式事務に関する一般事項のご照会先となっております。ご登録住所等の変更手続きをされる場合は、お取引口座のある証券会社等へお問い合わせください。

公告方法

当社ホームページ上に掲載します。
<http://www.tt-paper.co.jp/ir/denshi.html>
ただし、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主優待品のご案内

当社特製カレンダーの送付について

このたび、2015年9月30日現在の株主名簿で1,000株（1単元）以上を保有する株主様へ、日頃のご厚情への感謝のしるしとして、『特製カレンダー』をお送りさせていただきます。

このカレンダーには、山岳写真家として世界的に有名な白籟史朗氏が、南アルプスに広がる当社社有林を撮影した写真を用いており、また、当社製の高級印刷用紙およびファンシーペーパーをふんだんに使用しております。

1年間を通じてご愛用いただければ幸いです。



単元未満株式買取りおよび買増し制度のご案内

単元未満株式（1~999株）につきましては、証券取引所での売買を行うことができませんが、当社では単元未満株式（1~999株）の買取りおよび買増し制度を実施しており、単元未満株式をご売却またはご購入することができます。

単元未満株式買取り制度

株主様がご所有する単元未満株式を株主様のご請求により、当社が買い取らせていただく制度です。

単元未満株式買増し制度

株主様がご所有する単元未満株式と合わせて1単元（1,000株）となるよう不足分の単元未満株式の売渡しを当社にご請求いただく制度です。

お手続きについて

買取り請求（ご売却）、買増し請求（ご購入）に関するご相談、お問い合わせは、お取引の証券会社または左記の当社株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部）までお申し出ください。

表紙写真：白籟史朗氏撮影
用紙：エアラス（新製品）
スーパーホワイト

UD
FONT

